

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23(9)	職員一人ひとりが専門的知識を学ぼうとする姿勢を持ち、人間の理解や認知症の理解により、一層入居者の理解を深める事が出来ると認識し、更に研鑽を積まれる事が期待される。	入居者一人一人に対し、今まで生きてきた生活の歴史を振り返り、また、認知症の理解を学び、研修会等を重ねることで、より深く一人の人として理解しケアに取り組む。そして、その過程の中で職員はチームでその人にかかわることの必要性をあらためて認識し、専門職として向上する。	①グループホームスタッフ全員で認知症の理解をより深める為に研修会を重ね、自身の力を専門職として付けられるようにする。 ②人の理解(認知症)に向けた外部研修に参加できる機会を持つことで、さらに研鑽を積み、より人間的に成長する意識を持つ。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。